

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	W-036
評価技術名称			連絡先 一般社団法人 発泡プラスチック建築技術協会 https://b-cep.org/					
構造用合板と発泡プラスチック断熱材を用いた耐震改修工法 (SIR 工法)			〒167-0051 東京都杉並区荻窪 1-37-15			電話 090-2766-9477 Fax 03-3220-3278		
概要	技術概要		発泡プラスチック系断熱材を用い、構造用面材と通気胴縁の間に設置し、外断熱効果とともに耐力を高めた工法。					
	技術の特徴		コスト		<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修だけでなく外張断熱を施工するため、省エネ、防水、高耐久性能の向上も図ることができる。 特殊な金物、工具、施工技術を必要としない。 			
	公的機関による技術評価・性能証明		実験実施機関		機関名 一般財団法人 日本建築防災協会 評価番号 DPA-住技-74 評価書の有効期限等 2023年12月2日 実験実施機関 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所			
仕	適用範囲		写真・図					
	構法	在来軸組構法						
	規模	階数:3階建て以下 延床面積:500㎡以下						
	基礎、地盤	基礎Ⅰ又は基礎Ⅱ						
	適用部位	外壁						
	その他							
	主要構成部材の仕様		柱・横架材:105mm 角以上 間柱:30×105mm 以上 柱芯間距離:900mm 以上 1,000mm 以下 横架材内法:2,400mm 以上 3,000mm 以下 外張断熱用木ねじ					
	耐震補強性能		壁基準耐力 壁基準耐力 Fw:8.0kN/m 壁基準剛性 K :1,670kN/rad./m N 値換算用等価壁倍率:6.7					
	設計方法		① 柱接合部による低減 取付部分が健全であること ② 劣化による低減 取付部分が健全であること					
	施工者指定		建設業許可、リフォーム瑕疵保険登録済みの施工業者であって、当法人が開催する設計施工技術講習会受講者のうち、登録された者					
その他								